



新しいカフェができました。
ちょっと覗いてみませんか？

野鳥に会いに行くバスツアー

日時 2013年3月9日（土）福岡市役所東側（天神中央公園向かい側）8：45 集合（雨天決行）
もしくはアイランドシティ中央公園ぐりんぐりに9：20 集合

場所 山口県立きらら浜自然観察公園 ※参加費は無料です

原則として3月16日のラウンジカフェに参加していただける方を対象とします

応募方法 メールもしくはFAXにて
住所、氏名、年齢、電話番号、FAX、ラウンジカフェへの
参加有無を記載の上申し込みください

募集人数 40名（応募多数の場合は抽選）

応募締切 3月5日（火）15：00
当選結果 3月5日（火）18：00 までに各自通知

持参物 昼食、双眼鏡、筆記用具
※双眼鏡をお持ちでない方は、こちらで準備します
その他 参加者はレクリエーション保険に加入します

行程（予定）
8：45 福岡市役所集合
↓
9：20 アイランドシティ中央公園（野鳥公園予定地展望）
↓
めかりパーキングエリア（昼食）
↓
山口県立きらら浜自然観察公園（施設説明、野鳥観察）
↓
17：00 アイランドシティ中央公園到着
↓
17：30 福岡市役所到着

第3回 野鳥公園ラウンジカフェ

日時 2013年3月16日（土）13：00～16：00 ※開場 12：30

場所 あいれふ：福岡市健康づくりセンター 10階講堂 福岡市中央区舞鶴2-5-1

プログラム みんなで実現しよう「〇〇ができる野鳥公園」

ファシリテーターの紹介・・・田坂 逸朗 氏
(コミュニティ・ワールドカフェLLP代表)

年間約250のワークショップに登壇する
ファシリテーション・プロデューサー。特定
非営利活動法人ローカルアントレプレナス
クール代表理事、ワールド・カフェ・コミュ
ニティ・ジャパン企画運営委員などを務める
ほか、2011年の福岡市「アジアのリーダー都
市ふくおか！プロジェクト」ワールドカフェ
アクションプロデューサーなど、まちづくりに
関するプロデュースも実践されている。



お申し込み先／お問い合わせ先 福岡市役所 環境局 環境調整課 野鳥公園整備担当 【担当：名川】

TEL 092-733-5389

FAX 092-733-5592

E-Mail nagawa.m02@city.fukuoka.lg.jp

アイランドシティで野鳥公園づくりが始まりました！

発行：福岡市役所環境局環境調整課

野鳥公園ラウンジカフェニュース



2013年2月

野鳥公園ラウンジカフェとは

多くの渡り鳥が飛来するなど豊かな自然環境を有する博多湾、その東に位置するアイランドシティに、約12haの野鳥公園の整備を予定しています。野鳥公園ラウンジカフェは、住民や学生など市民をはじめ、専門家、事業者、NPO、行政など多様な主体が野鳥公園の整備や活用、運営に向けて語り合う場です。野鳥公園が整備されるまで継続して実施する予定です。

参加者の様子は
内面をチェック！



次回案内

参加者募集！！

第3回 野鳥公園ラウンジカフェ

今回のラウンジカフェは、第1回、第2回で皆さんにいただいた様々なアイデアや意見をもとにした野鳥公園の基本となるコンセプトやイメージプラン案が登場します。参加者の皆さんには、「空間の大まかな使い方」や、「人と野鳥の境界をどのように考えるのか」といった内容を、実際のイメージプラン案をたたき台にして、ワイワイ語り合ってください。

たくさんの仲間との出会いを通じて、新しい空間、新しいコミュニティを描いてみませんか？



日時 2013年3月16日（土）13：00～16：00 ※開場 12：30

場所 あいれふ：福岡市健康づくりセンター 10階講堂 福岡市中央区舞鶴2-5-1

プログラム みんなで実現しよう「〇〇ができる野鳥公園」

～ダイアログ（対話）を重視した様々なファシリテーション手法を活用して、楽しくかつ話しやすい雰囲気が進めます～

●参加費：無料 どなたでも参加できます！

●主 催：福岡市環境局

申し込み締め切りは3月13日（水）です

◆参加を希望される方は、電話、FAX、メールのいずれかで、氏名、住所、連絡先（電話番号もしくはメールアドレス）を添えてお申し込みください。グループやご家族で参加される方は、全員の人数をお伝えください。

ラウンジカフェの前に行ってみよう・・・野鳥に会いに行くバスツアー実施！！



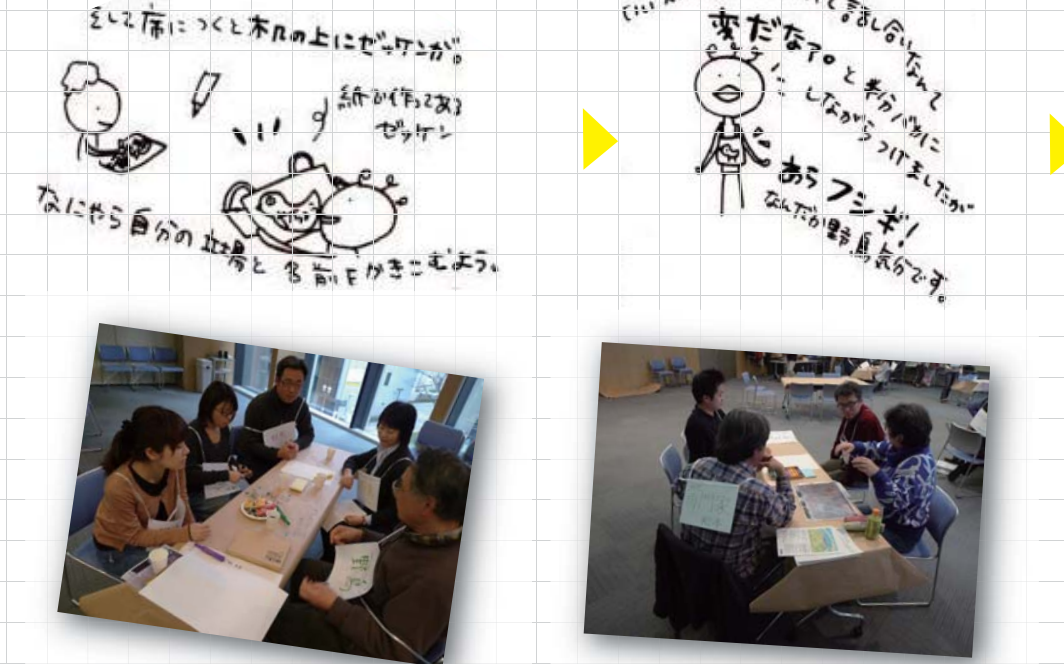
詳細は裏面へ

第2回野鳥公園ラウンジカフェの振り返り

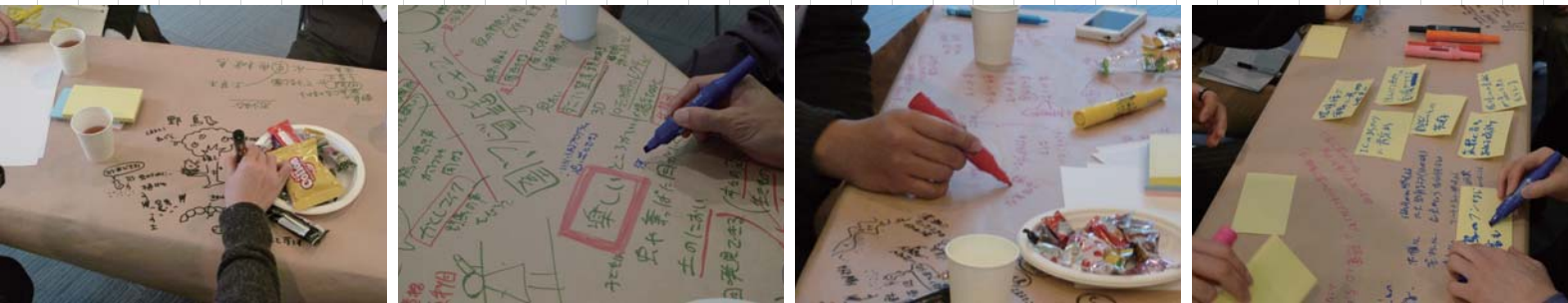
■開催日時：2013年1月19日（土）13:00～16:00 ■会場：天神クリスタルビル ■参加者：25名
■プログラム：「みんなでつくろう〇〇ができる野鳥公園」

① 第1回野鳥公園ラウンジカフェ（2012年11月11日開催）では、アイランド中央公園での野鳥観察の後、「野鳥公園ってなに？」というテーマに対してワールドカフェ方式で話し合いを行いました。第2回目である今回のテーマは「みんなでつくろう〇〇ができる野鳥公園」でした。

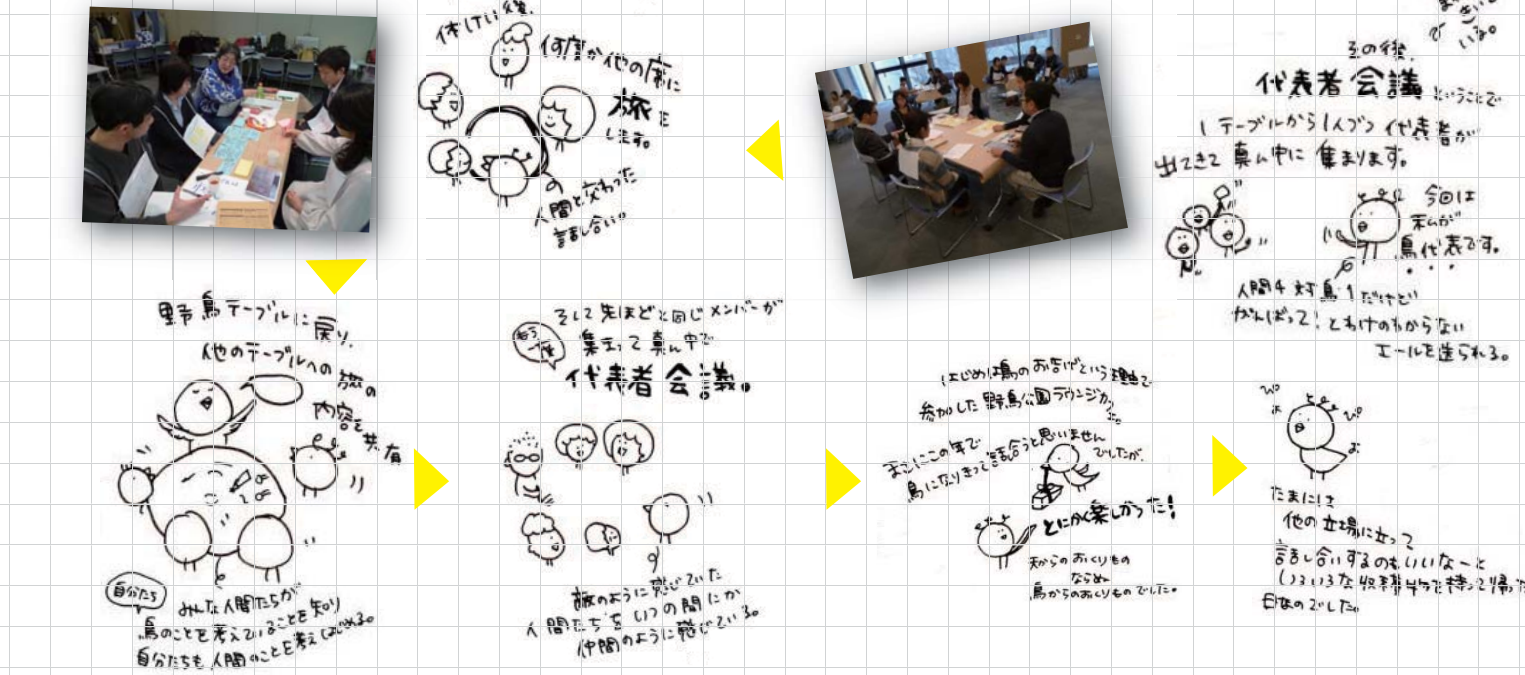
② 今回は「ロールプレイ」形式での話し合いを行いました。これは、各参加者が与えられた役になりきって、役の立場から話し合いを行う方法です。今回は野鳥公園の整備や活用、運営にかかせない、「市民」、「地域住民」、「野鳥」、「子ども」、「専門家」の5つの役を設定しました。参加者は自分が演じたい役を選んでテーブル集まり、役に徹するために「なりきりゼッケン」を着用し、話し合いをスタートしました。



③ 最初は少し戸惑っていた参加者も、お茶を飲みながらのオープンな雰囲気次第にリラックスし、自然と役になりきって創造性あふれる会話が生まれ、落書きできるテーブルクロスには沢山のアイデアやイラストが描かれました。



④ その後、それぞれの役の代表が集まる「代表者会議」での話し合いに全員で耳を傾けた後、他テーブルとのメンバー入れ替えを行うことで、野鳥公園に関係する様々な立場を体感し、様々な情報を得ることで、「なるほど！そういう考えもあるのか！！」といった発見があり、そこから新たなアイデアや発見が生み出されました。



⑤ 最後に総括として、対話の中から興味深かった意見や心に残った言葉などを、そのままファシリテーターの田坂さんにまとめていただき、参加者全員で共有しました。

「宿泊施設」や「大きな望遠鏡」、「ひっそりとした森」、「干潟」などの具体的な施設に加え、「これから暮らしのスタイルに不可欠な野鳥公園」、「新たな価値→未来のライフスタイルを生み出す野鳥公園」、「アイランドシティ全体を公園に」、「子どもの未来が拓ける野鳥公園」など、アイランドシティに新たなステイタスをもたらす場として野鳥公園をつくりたいという意見がたくさん出ました。



いろいろな意見	
＜なりきり子どもの立場から＞ ・宿泊ができる ・放課後過ごせる ・騒ぎながら野鳥が見られる（防音設備） ・ナマの解説（名物おじさん）が聞ける ・思い出が残る ・しっかり鳥の声が聞こえる（隠しマイクで鳥の声を拾う） ・教えることができる（習うばかりでなく、大学生インターンや職業訓練） 【子どもたちの未来が開ける野鳥公園】	＜なりきり野鳥の立場から＞ ・人間の入れないひっそりした森がある ・夜のねぐらになる・遊びができる・砂遊びができる ・安心して子育てができる・休息ができる ・木の実や草、土、きれいな水、魚など。 【生き物、植物、人間が伸び伸び過ごせる野鳥公園】
＜なりきり市民の立場から＞ ・環境教育を受けることができる ・納税者が納得できる ・安全に遊べる・納税者が納得できる・コミュニティが形成される ・人工島のイメージを変えることができる ・市民がステータスを感じることができる 【これからの暮らしを描けるシンボリックな野鳥公園】	＜なりきり地域住民の立場から＞ ・子どもと一緒に家族で楽しむことができる ・野鳥公園を通じて地域の輪ができる ・住んでいる場所の自慢ができる ・環境保護活動や野鳥の保護に住民も参加できる ・自然と共存した文化的生活を主張できる ・気軽に立ち寄ることができる（新旧住民ともに） ・土に触れる、環境に触れることができる ・ステイタスや地域に対するプライドを持つことができる ・目に見える価値を感じることができる ・新しい価値（エコ、コミュニティ）を作り出すことができる 【公園の中に住むから、住んでいる所が公園になるへ】 「ステータス」、「先進的なエコ」、「教育＝価値」
＜なりきり専門家の立場から＞ ・生態系を支えることのできる ・鳥の種に応じたハビタットができる ・失われている場を補償する（後背湿地など）空間ができる ・干潟の鳥や生物を観察することができる ・地域が野鳥公園の管理できる ・具体的な設計の際にノウハウ・経験のある人がかかわる ・自然の反応を見ながら長い目でつくっていくことができる 【ネットワークを活かし国際的なセンターになる野鳥公園】	